



第24号

発行
能勢町民生委員児童委員協議会
（略称 民児協）
会長 乾谷 晃
編集
広報部会
事務局
能勢町福祉部福祉課
大阪府豊能郡能勢町栗栖 82-1
Tel 072-731-2150
Fax 072-731-2151



宿野二区・常慶寺【しだれ桜】

能勢町民児協オリジナルスローガン

『里山の暮らしによりそう 民生委員』

【主な内容】 ☆民児協会長あいさつ ☆各部会の活動
☆各地区だより ☆編集後記

会長あいわつ

暮らしに寄り添う相談相手



民信協会会長
乾谷 晃

令和4年12月1日、能勢町民児協スローガン「里山の暮らしによりそう 民生委員」を制定いたしました。これは民生委員の周知に努めるとともに、委員の意識向上につなげたいと考えて定めたものです。今後とも、地域の身近な相談相手として活動してまいります。

さて、コロナを乗り越えた今、民児協では本年度からコロナ前の活動に戻し、決して守りにならず、積極的に取り組んでまいります。5月の「民生委員・児童委員の日」に呼応した街頭啓発活動、6月は高齢者一人世帯を中心とした訪問強化月間、さらに夏場には「うちわ」をグッズとした友愛訪問などに取り組みました。

また、コロナ禍から始めました「はがき」による訪問活動に取り組ましました。

民児協では今に即した民生委員活動を皆様のご支援のもと充実させていきたいと思っております。今後とも、皆様と笑顔でお話ししたたく委員一同努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



総務企画部会

コロナ禍で停滞気味であった協議会活動もようやく進展しています。本部会も、令和5年度に計画した部会活動をおおむね実施することができました。

隔月開催の定例会では事前に部会を開催し、資料の準備や会議の進行次第を確認。当日は会場準備と受付、不慣れながらも司会進行を輪番制で務めています。部員のチームワークと頑張りで、回を重ねるごとに会議が活性化していると感じています。

会議終了後の3〜5名に分かれたの意見交換会では他地区の委員と情報交換をすることで、地域課題

解消のアイデアにもなっています。

その他、いざというときに備えて、AEDの使い方や救命処置の手順など人形を用いてわかりやすく豊中消防署に講習いただきました。

また、町内でも被害が発生している特殊詐欺について、地域活動の中でも情報提供ができるよう豊能警察署に講話いただきました。

令和5年度の締めくくりには大阪大学大学院の斉藤弥生教授を招聘し、委員の知識向上のための講演会とワークショップを開催しました。

今後とも協議会の発展と地域福祉の向上につながる企画立案をしていきます。



地域福祉部会

令和5年11月12日、淨るりシアターにて「第26回能勢ふれあいフェスタ」が4年ぶりに開催されました。

当日は寒く、小雨が降ったりする中、多数の参加者で会場内外とも賑わっていました。

当部会は駄菓子屋を出店しました。笑顔で楽しそうに駄菓子を選ぶ子どもたち、見守る大人、世代を超えたふれあいの場を提供できたことを大変うれしく思っております。

また、寒い中ご参加いただきましてありがとうございます。



駄菓子屋出店風景

児童福祉部会

この2、3年コロナ禍のため活動もままならず休み休みの子育てサロン「にこにこ」でしたが、令和5年度は計画どおりの活動ができました。

生後3〜4か月の赤ちゃんから3歳の幼児まで毎回12〜13人のお子さんとその保護者が集まって来られ、歌ったり、紙芝居を見たり、季節ごとの遊びや工作をして楽しく時を過ごしています。

保護者の方々はお互いのお子さんを通して仲良くなり、何でも話し合えるお友達になっておられます。ほんの少しの間ですが保護者の方々の癒しの時間でもあります。

ハイハイしていた赤ちゃんが2週間見ないうちにひとり立ちし一歩

一歩足を踏み出しておられる姿を見たと、喜びを感じ、ほんの少し育児のお手伝いができたことを誇らしく思います。



主任児童委員部会

大阪府主任児童委員連絡会北摂ブロック（池田グループ）では、輪番制の研修会を実施しています。今年度は能勢町が主催となり、淨るりシアターにて8月30日に実施しました。

演題は能勢町家庭教育支援チーム「ほっこり」の事業について、内容は能勢町子どもの未来応援センターとチーム「ほっこり」の家庭教育支援員による講演とグループ討議でした。前半の講演では、事業の経緯と位置づけ、家庭訪問の意図実績と成果などの報告がありました。後半のグループ討議では、家庭教育支援員が各グループに入り、訪問の様子や工夫などを話した後、参加者から



感想や地元での活動をお聴きし交流しました。豊能町の主任児童委員と当民児協

役員の皆様のご協力により、研修会が実施できたことに感謝いたします。

広報部会

広報部会では、民児協の活動を多くの方に知っていただけるよう、広報誌発行を中心に活動してまいりました。

その中で、タイムリーな情報提供をお届けするため令和5年度から「ミニ活動報告を町のホームページ（下記二次元コード参照）に記載しております。部員2人でA4ページ1枚の記事を作成し、現在第4号まで発行しております。



また、5月の「民生委員児童委員の日」におおむね1時間、広報部会主催で歌垣地区（野間の大げやき）、田尻地区（田尻農産、久佐々地区（観光物産センター）、岐尼・天王地区（ノセボックス前）、東郷地区（能勢げやきの里）、の5か所各委員が来場者にパンフレットとウエットティッシュを配布して一斉啓発活動を行いました。

令和6年度は民児協ポスターを

作成し、町内の主要施設等にポスターの掲示をお願いしたいと思っております。



観光物産センターでの一斉啓発活動



地区だより



歌垣地区

令和5年6月に「うたがきふれあいまつり」実行委員会を結成し企画立案。9月の「敬老の日」に友愛訪問を行いバームクーヘンと手紙を届けました。

10月には「ふれあいまつり」を実施し、グラウンドゴルフを参加者全員で行いました。また子どもたちは別室でゲームを、大人たちは体育



館でマジックショーと落語を鑑賞しました。昼食後、「お楽しみ抽選会」をして解散しました。

田尻地区

研修会は、北淡震災記念公園に行ってきました。ガイドさんによる説明を聞きながらの1時間半は、あっという間に過ぎました。



29年前のたった40秒間の野島の断層のズレによって生じた地震のエネルギーの大きさに、自然の脅威を改めて感じました。近い将来発生すると予想される南海・東南海地震に備え、災害発生時における福祉活動について考える

よい機会になりました。

久佐々地区

「みんなの集い」は地区で一番大きな年間行事です。

遊びのコーナーは、プラ板工作・リース・バルーンアート・間伐材工作・スーパードールすくい・ビッグシャボン玉、演芸コーナーは、和太鼓・人形劇・三恵園楽団・落語・民謡を出展し、例年であれば、最後にビンゴゲームを行い解散するのですが、今回は悲願であった大阪府警音楽隊カラーガード隊を誘致することができました。ホールにて多くの来場者を迎え喜んでいただけただけで大変うれしく思います。



大阪府警音楽隊・カラーガード隊による演奏

岐尼・天王地区

5月から新型コロナウイルス感染症が5類に分類されたことから、福祉活動もやっと正常化することができました。

8月には、能勢ききゆり学園にて「岐尼っ子むらの夏祭り」。地区の児童生徒・幼児・保護者の方々と賑わいました。11月の「ふれあい広場」では、大人も子どもも、みんなで楽しく深山登山。12月は「ふれあい会食会の集い」に多数参加いただき、楽しいひとときを過ごしました。



東郷地区

将来に起こりうる大地震について考えるため、視察研修として北淡

震災記念公園に行きました。また、視察研修を踏まえて、3月に災害時にどのように対応すればよいか考えるための、地区内で勉強会を実施しました。



また、地元の盆の市に夜店を出店した他、「さとおかフェスタ」を4年ぶりに行いました。ウォーキングをしてゲームと屋外での催しでしたが、70名ほどの参加者と楽しく過ごしました。

編集後記 広報部会

ささゆり24号はいつもより写真を多く入れ、親しみのある、見やすい紙面づくりに努めました。

「地区だより」は、紙面のスペースの関係上、割愛させていただいた部分がございますが、ご了承ください。